様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和２年　　６月　　23 日

愛 知 県 知 事　殿

提出者

住 所　愛知県碧南市港南町二丁目 8 番地 12

氏 名　アイシン辰栄（株）　取締役社長　平松　淳

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0566-48-7000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	アイシン辰栄株式会社　本社・港南工場
事業場の所在 地	愛知県碧南市港南町二丁目８番地 12
計画期　間	令和２年４月１日　～　令和３年３月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種 類	輸送用機器器具製造業
②事業の規 模	売上高　23,822 百万円
③従業員 数	896 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・排水汚泥：脱水処理後熱乾燥し、処理業者へ委託して混練後原材料 ・廃プラ：処理業者へ委託し、破砕後 RPF ・塗料カス：破砕後天日干しし、処理業者へ委託して焼却後原材料 ・木くず：処理業者へ委託し、破砕後燃料 ・廃塗料：処理業者へ委託し、焼却後燃料

（日本工業規格　Ａ列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
全社環境管理部署
｜
工場長（産業廃棄物責任者）
｜
技術員室課長（マニフェスト管理者）
｜
技術員室（マニフェスト担当者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　令和１　年度）実績】

産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	廃塗料
排出　量	3360 t	111 t	108 t	4 t	2 t

（これまでに実施した取組）
汚泥、塗料カスの乾燥
全工程にて不良低減
塗装工程にて塗着効率の向上

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	廃塗料
排出　量	2660 t	89 t	86 t	3 t	2 t

（今後実施する予定の取組）
汚泥、塗料カスの乾燥
全工程にて不良低減
塗装工程にて塗着効率の向上
薬品変更による汚泥発生量低減

産業廃棄物の分別に関する事項

	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 排水汚泥、塗料カス、廃プラ、木くず、廃塗料はそれぞれ について分別
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラを更に層別し、有価物としての引取りを目指す。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	①現状	【前年度（　　年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	― ―
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	― t ― t
		（これまでに実施した取組） ―	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	― ―
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	― t ― t
		（今後実施する予定の取組） ―	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（　　令和１　年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	排水汚泥　塗料カス
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	― t ― t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	3312　t　54　t
		（これまでに実施した取組） 排水汚泥：遠心分離後、熱乾燥にて乾燥 塗料カス：破砕後、天日干し	

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	排水汚泥	塗料カス
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2622 t	43 t
		（今後実施する予定の取組） 排水汚泥：遠心分離後、熱乾燥にて乾燥 塗料カス：破砕後、天日干し		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（　　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	― t	― t
		（これまでに実施した取組） ―		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	―
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	― t	― t
		（今後実施する予定の取組） ―		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
	1　現状	【前年度（　　令和１　年度）実績】					
		産業廃棄物の種類	排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	廃塗料
		全処理委託量	48 t	111 t	54 t	4 t	2 t

			優良認定処理業者への処理委託 量	48 t	—	54 t	4 t	2 t
			再生利用業者への処理委託 量	48 t	111 t	54 t	4 t	2 t
			認定熱回収業者への処理委託 量	—	—	—	—	—
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	—	—	—	—	—
		（これまでに実施した取組） 廃プラの分別を継続し埋め立て廃棄物をなくした 粘着性の高い塗料カスの不粘着化により埋立て廃棄物をなくした						

（第５面）

	②計画	【目標】						
		産業廃棄物の種類		排水汚泥	廃プラ	塗料カス	木くず	廃塗料
		全処理委託 量		38 t	89 t	43 t	3 t	2 t
			優良認定処理業者への処理委託 量	38 t	—	43 t	3 t	2 t
			再生利用業者への処理委託 量	38 t	89 t	43 t	3 t	2 t
			認定熱回収業者への処理委託 量	—	—	—	—	—
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	—	—	—	—	—

		（今後実施する予定の取組） 廃プラの更なる分別を行い、有価物としての引取りを目指す。
※事務処理欄		